

2009～2010年度
第22回 全国ローターアクト研修会

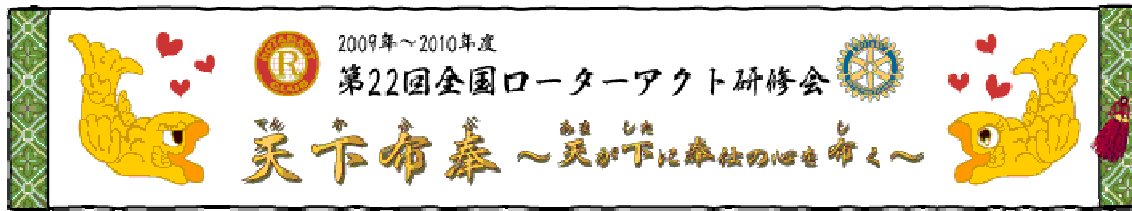


開催日：2010年3月13日（土）～14日（日）

開催場所：13日（土）ウエスティンナゴヤキャッスル

14日（日）ウインクあいち

ホスト：国際ロータリー第2760地区（愛知）



大会テーマ

天下布奉 ～天が下に奉仕の心を布く～

天が下(全国)に奉仕を広げたいという気持ちを込めて、今大会テーマを「天下布奉」としました。これは愛知県にゆかりの深い織田信長が好んで使ったとされる「天下布武」の「武」を、奉仕の「奉(ぶ)」に置き換えたものです。

では、奉仕とはどのようなものでしょうか？一般的には街頭募金や献血、福祉施設への慰問などが挙げられます。しかし、私たちはそれに加え、さらなる奉仕があるのではと考えました。

この全国ローターアクト研修会で、ローターアクトに出来る新しい奉仕を見つけ、その心を広げていきませんか？

開催要項

趣旨

年に一度、日本国内のロータリー並びにローターアクトが集うことにより、より良い関係を築き、ローターアクトの発展に努めるために開催されます。

研修会の目的

- 1) ローターアクト地区間のより良い信頼関係を推進するための機会
- 2) ローターアクト活動の建設的な意見交換、情報交換のための機会
- 3) ローターアクト会員の親睦と友好のための機会
- 4) 参加者の指導力養成
- 5) ローターアクトの活動を広く紹介するための機会

ホスト

国際ロータリー第2760地区(愛知)

ロータリークラブ及びローターアクトクラブ

開催日

2010年3月13日(土)～14日(日)

参加者

代表出席者

- ・ロータリー
地区ローターアクト委員長・次期地区ローターアクト委員長
- ・ローターアクト
地区ローターアクト代表・地区ローターアクト幹事
地区ローターアクト代表エレクト・次期地区ローターアクト幹事

一般参加者

- ・ロータリークラブ会員・ローターアクトクラブ会員
- ・ローターアクトクラブOB・OG

会場

1日目

- ・ウェスティンナゴヤキャッスル
開会式・基調講演・代表者会議・レセプション

- ・愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
一般参加者プログラム・楽市楽座
(下剋上、粋な工芸、天下布奉)
- ・名古屋城
一般参加者プログラム・楽市楽座
(徳川物語)
- ・名古屋市内
一般参加者プログラム・楽市楽座
(名古屋道中膝栗毛)

2日目

- ・愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
全体会・閉会式

日程

1日目(3月13日(土))

11:30~13:00 登録受付

13:00~14:00 開会式(点鐘・開会宣言・国歌ローターアクトソング斉唱・特別出席者・参加地区紹介・歓迎の挨拶・祝電披露・諸事連絡)

14:00~15:00 基調講演

15:00~18:00 一般参加者プログラム(楽市楽座)

~19:00 代表者会議(風林火山)

19:00~21:00 レセプション(天下統一 ~手に手つないで~)

2日目(3月14日(日))

10:00~11:30 全大会・本会議

11:30~12:30 閉会式(代表者出席部門・一般参加者プログラム(下剋上)報告・前年度開催地区報告・全国地区代表会議報告・地区ローターアクト代表エレクト決意表明・次年度開催地区挨拶・総評・閉会宣言・点鐘)

代表者会議

1. 代表者会議の組み合わせ

- ロータリー部門 地区ローターアクト委員長・次期地区ローターアクト委員長
- 地区ローターアクト代表部門 地区ローターアクト代表
- 地区ローターアクト代表エレクト部門 地区ローターアクト代表エレクト
- 地区ローターアクト幹事部門 地区ローターアクト幹事
- 次期地区ローターアクト幹事部門 次期地区ローターアクト幹事

2. 代表者会議の日程

2010年3月13日(土) 15:00~19:00

3. 代表者会議について

●ロータリー部門

講演「第 2760 地区(愛知)の新世代委員会の改革と現実」

講演者紹介

国際ロータリー第 2760 地区 地区新世代委員会副委員長

増井 洋生（ますい ひろお） 所属クラブ 小牧ロータリークラブ

● 地区ローターアクト代表部門

● 地区ローターアクト代表エレクト部門

ワークショップ「1分間でロータリーを説明しよう！」

近年、全国の RAC の共通の問題として、クラブ会員数の減少が挙げられます。その対策として、各クラブとも会員増強に力を入れているかと思います。そして、会員となってくれそうな方に RAC を説明するにあたって、提唱クラブである RC の説明は非常に重要です。しかしながら、ロータリーの事を的確に説明するのは難しく、かといって色々な活動を事細かに説明をする時間が必ずあるとは限りません。今回これらの問題を解決するために、ロータリーと関係の深い地区ローターアクト代表やこれからロータリーとの関係を深める地区ローターアクト代表エレクトの方々に、短時間でロータリーとはどういったものなのかを説明する説明文を作成していただきたいと思っております。そして、これを全国ローターアクト研修会で行うことによって、全国で共通の認識をもちたいと考えております。

● 地区ローターアクト幹事部門

● 次期地区ローターアクト幹事部門

ワークショップ「社会問題にアクトとしてどう取り組むか」

地区ローターアクト幹事の行う仕事には事務的手続きや、ロータリー、他地区・自地区の RAC との連絡等の他に、地区ローターアクト代表が語る「夢」「目標」「戦略」をどのように実現可能な事業にするか考える、という事があります。今回、全国ローターアクト研修会ではこの幹事の仕事を生かして、近年日本が抱える様々な社会問題に対して RAC として何ができるのか、どう取り組めばいいのか、といった事を実現できる事業・例会を考えて頂きます。その中で、地区ローターアクト幹事同士で様々な意見交換やノウハウを共有して各地区の地区運営がさらに円滑にしていきたいと考えております。

一般参加者プログラム

樂市樂座

● 下剋上

<会場> 愛知県産業労働センター(ウインク愛知)

<内容> 代表者会議と同じ議題でワークショップを行い、翌日の本大会で発表します。全国から集められた“やる気・負けん気”のあるメンバーと共に地区代表たちより

も良いものを作る勢いでワークショップを行い、経験と絆と充実感を持ち帰って今後のクラブ活動に活かしてもらうことがプログラム「下剋上」の狙いです。

● 粋な工芸

＜会場＞ 愛知県産業労働センター（ウインク愛知）

＜内容＞ 伝統的技術を伝承し、幾人もの職人の技と心のこもった「名古屋扇子」。その扇子職人の方から手解きをうけて扇子作りの体験をします。

思い出と共に持ち帰った「扇子」は今後長きに亘って愛用できるので、この研修会を話題にしながら各々の楽しい季節を迎えてもらうことができれば幸いです。

● 名古屋道中膝栗毛

＜会場＞ 名古屋市内

＜内容＞ 弥次さん・喜多さんの珍道中記録書「東海道中膝栗毛」を基本コンセプトとし、任意のグループでの名古屋珍道中を楽しんでももらいます。

仲間内で市内散策をすることで全国研修会に参加して「良かった、楽しかった」と感じてもらい、「名古屋道中膝栗毛」というプログラムを通してアクトの「楽しさ」を再発見してもらう事が狙いです。

A.TERA 級満腹コース B.ムチャ振り満喫コース C.大須の名店ホクホク食べ歩きコース D.スイーツ欲張りコース E.恋の三社めぐりコース

● 徳川物語

＜会場＞ 名古屋城

＜内容＞ バスにて名古屋城へ移動し、専門ガイドの案内で名古屋城場内を見学します。

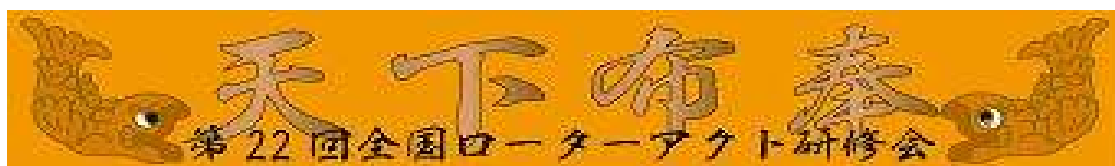
全国研修会でなければあまり来事がない名古屋でありながら、必ず誰もが聞いたことのある歴史の重要人物、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康 の生活や当時の文化・歴史に触れる機会を提供し、より深く愛・三・岐を探究して頂きます。

● 天下布奉

＜会場＞ 愛知県産業労働センター（ウインク愛知）

＜内容＞ 基調講演で講演して頂く、駒崎弘樹さんと共にフォーラムに参加します。

このプログラム「天下布奉」では今一度、「奉仕とは一体何か？」「ボランティアというものは本当に良いことなのか？」などの意見を言い合ったり、社会で実際に活躍している社会起業家、駒崎弘樹さんの体験を聞いたりして、今のアクト活動を再認識する機会の提供をします。



参加者（R. I. D 2510）

ロータリー

地区RA委員 蝦名大典 様 （札幌南ロータリークラブ）

ローターアクト

地区RA代表 安藤由香里 （札幌南ローターアクトクラブ）

地区RA幹事 三田宏和 （札幌南ローターアクトクラブ）

一般参加 川下和光 （札幌南ローターアクトクラブ）

李ブンシン （札幌南ローターアクトクラブ）

開会式



↑ 実行委員長の開会宣言



↑ 開催地区ガバナー挨拶



↑ 総勢800名くらいの参加者



↑ ホスト地区代表挨拶



↑ 司会



↑ 風景

基調講演



NPO法人フローレンス代表理事の駒崎弘樹氏による基調



プログラム



代表出席者部門 風林火山

●地区ローターアクト代表部門

R. I. D 2 5 1 0 地区からは、地区代表の安藤が出席いたしました。全国地区代表者会議を行いました。時間の都合上、ワークショップができず会議のみでした。皆さん熱く常に意見の飛び交う会議でした。



←ホスト地区の河合代表が進行役で会議は進みました。全国から32名の代表の方が出席して、3つの議題にそって、協議しました。



●地区ローターアクト幹事部門

R. I. D 2 5 1 0 地区からは地区幹事の三田さんが出席しました。グループに分かれ「社会問題にアクトとてどう取り組むか」というワークショップを行いました。社会問題を題材に「アクトとして何ができるか?」「どう取り組めばいいか」ということを例会や事業として作って、具体的に形にしていきました。

●一般プログラム～楽市楽座～

一般プログラムは、当地区からは2名（川下さん・李さん）の参加。
参加したプログラムは、「名古屋道中膝栗毛」名古屋市内の散策をしました。



レセプション

天下統一～手に手つないで～

全国からローターリアンやローターアクターが集まり、懇親会。知り合いも多くなってきてたくさんの方とお話するいい機会でした。名古屋の料理（きしめん・串カツなど）も堪能しました。



余興・・・イケメン武将隊です。

前田慶次をはじめ織田信長・豊臣秀吉など歴史上の人物が登場！！パフォーマンスを見せてくれました。



私の友達がホスト地区（愛知）で今地区 R A 代表エレクトになっていました。

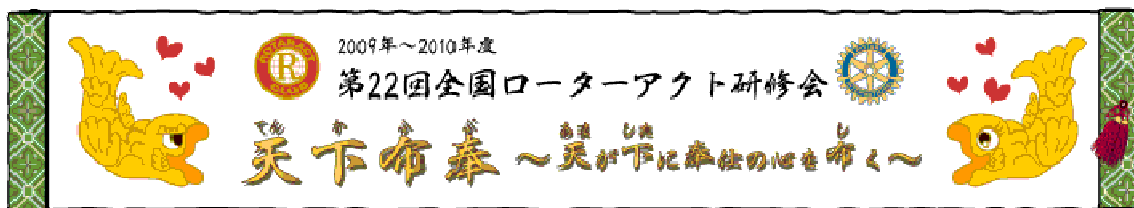
そして、全国 R A 研修会初参加の李さんをいろんな方に紹介しつつ、全国のアクターの皆さんと交流しました。

楽しいレセプションでした。最後は手に手つないでを全員でやりました。

レセプション終了後・・・

ローターアクト代表者部門の出席者（地区代表・地区幹事）は、懇親会に出席して、各地区の代表者の方と親睦を深めました。

普段話す機会少ない、他地区の方といろいろな話をしました。



閉会式



↑ プログラムの発表



↑ 前年度の報告



↑ R A 代表以外決意表明



↑ 次年度開催地区挨拶



↑ 次次年度開催地区



↑ 全国ローターアクト研修会もこれで閉会



R.I.D 2500地区のアクターの皆さんと一緒にステージ上で記念撮影♪

<<感想>>

安藤 由香里（地区 RA 代表）

今回の全国研修会はとても勉強になりました。地区代表として代表者会議に出席しましたが各地区の代表の方の意見もたくさん聞くことができとても参考になりました。そして、ホストの方のもてなしもすごいなと感心しました。これだけの人数を受け入れて、研修会を開催することを自分の地区で考えたとき、今の現状では難しいかなと思いました。全国研修会や他地区の行事にでると友達もたくさんできるし、参加すればするほど勉強になることがたくさんあると思います。

次年度は、もっと多い人数で全国研修会に参加したいです。

三田 宏和（地区 RA 幹事）

今回、2510地区からの参加者は私を含めて4人だった。

北海道という交通の便の悪さを考えても、かなり少ないと感じた。普段の活動としては他の地区にも負けないような活発な活動をしていると思っているが、参加人数の少なさからなんとなく気後れしてしまっただけ残念だった。

当地区が全研のホストをするのはかなり先になるし、その時には経験者もいなくなっている。全研に参加することが恒例となっていれば雰囲気を知ることもし、全国のアクターとのつながりもできるので、今後ホストをすることになった時に役立つと思う。

最初は観光目的でもいいので、（次回は埼玉なので少し弱い気もするが）とにかく全国研修会に参加してもらって、少しずつでいいので全国のアクターと交流してもらい魅力に気づいてもらえればいいと思う。

私のアクトでの活動もあと1年を残すのみだが、来年度は多くのメンバーを全研に連れていくことを目的にしたいと感じた。



<<講評>>

第 22 回全国ローターアクト研修会に参加して

3月13日～14日 名古屋で開催された第 22 回全国ローターアクト研修会に参加してきました。

私はロータリアン部門へ参加し約3時間の研修を受けました。先輩ロータリアンの話の中で、地区内ロータリアンのローターアクトに対する関心度合いの格差が激しいこと、そして会員数の減少に対してロータリアンの出来ることなどが挙げられていました。

どの話題も我々2510地区にも当てはまる面があり 地区内ローターアクトとの接し方や地区内ロータリアンに対する報告の仕方などこれから考えていく課題を十分に確認できました。

当地区でもローターアクターの意識を高め、ロータリアンに関心を持っていただけるようなサポート体制を整えるために貴重な意見を聞かせて頂いた研修になりました。

来年度以降の参考にさせていただきます。

以上

平成 22 年 4 月 28 日
第2510地区ローターアクト委員
札幌幌南ロータリークラブ
蝦名 大典



発行日：2010年5月

編集：2009～2010年度 ローターアクト代表 安藤由香里

E-mail:reoreo2002.8.8@fork.ocn.ne.jp